夕刊 エンタメ&スポーツ

番組探訪！

成長見守る 隣人の目線に

ドラマ「柚木さんちの四兄弟。」

「柚木さんちの四兄弟。」より

27日開始のNHK総合の夜ドラ「柚木さんちの四兄弟。」（月―木曜夜）は、事故で両親を亡くし、新米高校教師と3人の弟だけで暮らす柚木家の日常を描いた作品だ。それぞれの未熟さ故にすれ違い、さまざまな事件が巻き起こる。責任感が強い長男の葛藤と弟たちに訪れる少年特有の心の揺れが丁寧に描かれ、保護者や隣人の目線で、温かく見守りたくなる。

藤沢志月による人気コミックが原作。一家を支える長男・隼（藤原大祐）、クールな次男・尊（大野遥斗）、トラブルを起こしがちな三男・湊（山口暖人）、大人びた四男・岳（永瀬矢紘）と、キャラクターの個性が際立つ。

物語序盤で中心となるのは湊だ。11カ月先に生まれた尊は同じ中学1年だが、自分だけ子ども扱いされて不満をため込む。ある日、兄らしいところを証明しようと、小学1年の岳をこっそり連れ出すが、人混みの中ではぐれてしまう。遠出した先で独りぼっちになった瞬間の焦りと心細さに共感せずにはいられない。

子役たちの少しぎこちなくも、気張らない演技が心地よい。中でも時代劇が好きで、「やむを得まい」と古風な言い回しを使う末っ子の岳が愛らしい。一家の成長が楽しみな作品だ。

（登）

昔から見ていた番組　「世にも奇妙な物語」

高杉真宙

6月8日夜放送の「世にも奇妙な物語'24　夏の特別編」（フジテレビ系）で高杉真宙＝写真＝が、グラフィティ（落書き）アートを描きながらアルバイトを転々とし、その日暮らしをするフリーターの佐倉エイスケを演じる。「昔から見ていた番組なので率直にうれしかったです。まさか主演として声をかけていただけるなんて驚きました！」と喜ぶ。

エイスケはある日、才能あるアーティストを保護する組織の人物によって連れ去られる。「まさに『奇妙』らしいなと思う作品」と語る。

「見てくださる皆さんを引っ張り込む気持ちはもちろんありますが、引っ張り込まれる気持ちも含めて見ていただければ」

日本の解き方

高橋洋一

長期金利の上昇と日銀の思惑

財政悪化要因になりにくいが 民間には良くないシグナルに

長期金利が約11年ぶりに1％を超える場面があった。経済にどんな影響を与えるだろうか。

日銀は、3月18日の金融政策決定会合において、短期のマイナス金利を解除し、短期金利とともに長期金利をある程度決めるイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）も解除した。現在、短期金利について、「無担保コールレート（オーバーナイト物）を、0～0・1％程度で推移するよう促す」という金融政策を行っている。この意味では、長期金利は政策目標とはなっていない。なお、ゼロ金利政策になった1999年以前の金融政策では、短期金利だけを政策目標としており、長期金利は市場の実勢に委ねていた経緯がある。

ただし、長期国債およびコマーシャルペーパー（CP）等・社債等の買い入れについては、3月の決定会合において決まった方針に沿って実施するとしており、足元の長期国債の月間買い入れ額は、6兆円程度となっている。

実際の買い入れは、従来たくの自由で、上昇するかどうかは市場の需給や短期金利の将来見通しなどで市場で決まってくるーとまではいえない。つまり長期金利は、日銀のさじ加減に左右されるともいえる。

あるべき論をいえば、日銀は長期金利に関する関与をなくすべきだ。同時に、金融政策の透明性を高めるには、政策金利である短期金利の見通しを表明したらいい。これは米連邦準備制度理事会（FRB）が行っていることであるが、過渡期とはいえ日銀の不徹底感が否めない。

もっとも、金利見通しを表明すると、インフレ率が「インフレ目標」の範囲内にあるにも関わらず、日銀が前のめりで利上げしようとしている実態があらわになるかもしれない。それは不都合なので、日銀はそこまでやらないだろう。

今の日銀は、短期金利の利上げに前のめりだ。そのため、長期金利についても、政策目標ではないというものの、高めを歓迎しているかのようだ。

長期金利が上がれば、民間設備投資は抑制され、経済成長にはマイナスだ。民間設備投資は成長の原動力なので、その悪化は先行きの見通しにとっては良くないシグナルとなる。

長期金利が上がると、政府の財政収支が悪くなるという指摘もあるが、それほど単純ではない。政府は広義の政府のバランスシート（貸借対照表）で見ると、負債より資産のほうが大きい資産超過だ。しかも、資産の大部分は金融資産である。

広義の政府の一員である日銀は、国債を満期保有するので、評価損を考慮する必要はなく、金利上昇は収益改善要因だ。つまり、金利上昇は政府全体としてみれば財政収支の悪化要因とはなりにくいのだ。

となると、日銀としては安心して利上げを志向できる。ただ、民間としては要注意だ。

たかはし・よういち＝嘉悦大教授

土俵のうちそと

方角がつく力士

3人の「横綱・西ノ海」

京須利敏

東西南北のいずれかの方角がしこ名にある力士は数多くいる。東では戦後の土俵を盛り上げた江戸っ子横綱の東富士が思い浮かぶ。怒濤の寄りで優勝6回。同じ時代に幕内に上がった東京・品川出身の東海は、最初は御殿山を名乗っていたが「ゴテン、ゴテンと転がる」と響きが良くないことから改名した。

西と言えば、いずれも鹿児島出身で最高位に上り詰めた3人の西ノ海だろう。新横綱場所は第16代が明治時代、第25代、第30代は大正時代。南は南太平洋・サモア出身で昭和の終盤に活躍した南海龍。身体能力が素晴らしく、大いに出世が期待されたが、酒におぼれて現役生活は短かった。

かつて相撲王国と言われた北海道からは当然のように「北」がつく力士が多く出ている。横綱は北の富士、北の湖、現在は八角理事長として協会トップの地位にいる北勝海。大関では北葉山、北天佑。北の洋という関脇もいた。つい最近まで現役だった北青鵬が暴力問題のため、22歳で角界を去ったのは残念な出来事だった。

（相撲ライター）

明治時代に活躍した第16代横綱西ノ海

スポーツ時想

Jリーグの社会連携活動

「選手発案」で注目

Jリーグの各クラブがホームタウンの企業や団体などと協働して社会課題に取り組む社会連携活動「シャレン！」。昨季実施された3千を超えるプロジェクトの中で、J1新潟の社会貢献活動が「ファン・サポーター選考賞」に輝いた。

同賞は「自身が応援しているクラブの地域でも実施してほしいと思える」を選考基準に、一般投票で決定。新潟はひとり親世帯や児童養護施設を対象に、家庭で余った食品を持ち寄って役立ててもらう「フードドライブ」などを実施した。

発案者は、昨季まで所属選手だった田上大地（現在はJ2岡山）。自身もひとり親家庭で育った経験を持ち、同じ境遇の子どもや保護者らに寄り添いたいと考えて実現させた。選手の自発性への感心や共感が、得票につながったという。

このほど東京都内で行われた表彰式で、プレゼンターを務めた元J1川崎の中村憲剛さんが熱っぽく語ったのもそこだった。「今までの社会連携活動はクラブの提案に選手が理解を示して行ってきたが、選手が発案した活動は意味合いが違ってくると思う。これがスタンダードになればいい」と意義を強調した。

ふと思い出したのが、10年以上前に取材した川崎の新体制発表会見だ。通常はメディアやスポンサー関係者だけを対象に行うが、市民会館のようなホールでサポーターも入れて実施。Jクラブの中でも特にファンとの強いつながりを自負する川崎らしい発想だった。

新潟の中野幸夫社長は、中村さんからの言葉に感無量の様子。「ずっと川崎の背中を見て活動を進めてきた。継続していきたい」と胸を張った。

（共同通信編集委員　戸部丈嗣）

見た目気になっても…

安易な手術に警鐘

痔の名残 肛門皮垂

健康&医療

いぼ痔（痔核）や切れ痔（裂肛）などの名残として、腫れが引いた後に皮膚の余剰部分がたるんでしわになる「肛門皮垂」。スキンタグとも呼ばれ、若い女性などがその見た目を気にして手術を求めるケースがあるという。寺田病院（東京都足立区）の寺田俊明院長は「安易に治療をするべきではありません」と警鐘を鳴らしている。

病気ではない

便秘や出産でいきんだり、下痢を繰り返したりすることで肛門の静脈に強い負荷がかかるといぼ痔や切れ痔になりやすい。

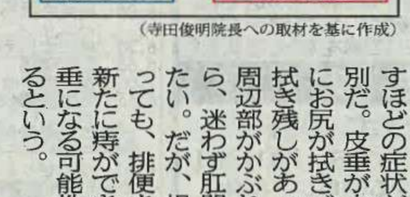
「いぼ痔の場合、肛門と直腸の境目にある歯状線より直腸側にできるのが内痔核、肛門側にできるのが外痔核。歯状線より直腸側は知覚神経がなく痛みを感じにくい一方、肛門側は痛みを感じやすいのが特徴です」。いぼ痔による肛門皮垂は、外痔核の腫れが引いた後、その部分の皮膚がたるんだ状態を指す。急激なダイエットでおなかや太ももの周りの皮膚がたるんだ状態をイメージすると分かりやすい。

「肛門皮垂自体は病気ではありません。人は生まれてからずっと排便を繰り返しますから、症状の有無にかかわらずほとんどの人は痔核を持っており、目立った症状さえなければ特に治療をする必要はないのです」

支障あれば受診

寺田院長は、いぼ痔を氷山に例える。「水面下でできる氷が内痔核、水面に出ている部分が外痔核です。外痔核の名残である皮垂だけを手術で切除しても再び外痔核はできてしまいます。本来なら内痔核そのものを切除する根治手術を行うべきでしょう」

しかし、生活に支障を来すほどの症状があれば話は別だ。皮垂が大きく排便後にお尻が拭きづらかったり拭き残しがあったり、皮垂周辺部がかぶれたりするなら、迷わず肛門科を受診したい。だが、根治手術を行っても、排便をする以上、新たに痔ができてやがて皮垂になる可能性は十分にあるという。



（寺田俊明院長への取材を基に作成）

新たにできる可能性

「症状がないケースでは、治療は自由診療で行われます。再び痔になれば、手術を繰り返すことにもなりかねません。赤ちゃんの頃のようなしわや皮垂のない肛門には戻れません。皮垂は生きてきた『年輪』のようなもの。安易に治療を行うことはやめましょう」と、寺田院長は注意を呼び掛けている。

下咽頭がん 唾液で診断

岡山大チーム開発

のどの奥にできて検査しづらい下咽頭がんを唾液で診断する手法を開発したと、岡山大病院消化器内科などのチームが英医学誌に発表した。

下咽頭がんは、消化器内視鏡で検査するが、苦痛を伴うため麻酔を使うことが多い。チームは、早期下咽頭がんの患者の唾液に含まれる細胞のDCC遺伝子がメチル化という変化をしている頻度が、がんではない人と比べて高いことを発見。メチル化の有無を調べることで、8～9割の精度で診断ができることを突き止めたという。

チームは、唾液を使った簡単な検査で、局所的な切除による根治が見込める早期の段階での診断につながるとしている。